



高山西ロータリークラブ

例会報告

第 2630 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1966 年 1 月 15 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
大垣共立銀行 高山支店 4F
- 会長 鍋島 勝雄
- 幹事 中村 良平
- 会報委員長 米澤 久二



「馳星周と愛する犬たち」 蜘蛛 康介

<会長の時間>

私の会長任期も 2 回の例会を残すだけとなりました。集大成としてクラブアッセンブリー、各委員長さん宜しくお願い致します。



一年を振り返り、マザー・テレサの言葉を思い出します。記者会見の席上にて「世界平和のために何が出来るか」の質問に、毅然と「まず家に帰って家族を愛しなさい。大きな事をする前に周囲から 救うことが世界平和の第一歩だ。」

自分に鑑み、皆の幸せを考え行動をして来ましたが、反省として、家族のこと、会員の気持ちを考えた計画をして来なかったことが心残りです。新規の会員確保が出来ず、会員へのロータリー精神の伝達が上手く出来ず、退会防止を未然に防げなかったことで残念な結果と成りました。自分の周りを見た行動が出来なかったことを会員の皆様にお詫び申し上げます。

<幹事報告>

◎RI 日本事務局財団室より

- ・公益財団法人ローター-日本財団、恒久基金受入開始のお知らせ
- 今後、年次寄付・使途指定寄付・恒久基金が税制上の優遇措置の対象となります
- ※確定申告用の領収書は、送金明細書の「寄付者名」に基づいて発行。「クラブ寄付(全会員×\$100)」と記入された場合、クラブ寄付となり、個人の寄付とはならず、個人の累計や税制上の優遇措置の対象にはなりません。



◎次期ガバナー、地区ロータリー財団委員長より

- ・地区ロータリー財団研修セミナー開催のご案内
- 日 時 7 月 9(土) 点鐘 10:30 閉会点鐘 16:30
- 場 所 岐阜都ホテル 岐阜市長良福光 2695-2
- 出席要請者 2011-12 クラブ会長および財団委員長

◎次期ガバナー、地区拡大増強委員長より

- ・会員増強研修セミナー開催のご案内
- 日 時 7 月 31(日) セミナー12:30~16:30
- 場 所 岐阜都ホテル 岐阜市長良福光 2695-2
- 出席要請者 クラブ拡大増強委員長

◎高山市青少年市民会議より

- ・平成 22 年度「高山市少年の主張コンクール」へのご協力について
- 日 時 6 月 19 日(日) 12:30 より 開場 12:00
- 会 場 丹生川文化ホール
- 内 容 市内中学生 16 名による意見発表
- アトラクション: 丹生川中吹奏楽部の皆さんによる演奏
- ・「ソーシャルアングル・アント」の会員の募集について(ご案内)
- ・平成 22 年度高山市青少年市民会議総会資料

◎高山市社会福祉協議会より

- ・平成 23 年度高山市社会福祉協議会第 1 回評議員会資料

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	38 名	0 名	38 名	42 名	90.48%
本日	34 名	—	42 名	42 名	80.95%

<本日のプログラム> クラブアッセンブリー

S. A. A 田中 武

今日の例会を含め残すところ 2 回となりました最後までしっかり勤めさせて頂きます。委員長には、私、田中 武 副委員長にはベテランの野戸 守さん、委員さんには、小田 博司さん、垣内 秀文さん、蜘蛛 康介さんの 5 名です。



基本方針通り『SAA とは、例会場の秩序を保ち、格調高く運営されるように常に心を配り気品と風紀を守り会合がスムーズにいくように、その使命を発揮し設営監督をする』。親睦委員会・プログラム委員会と親密に連絡をとり行いました。この一年間を振り返ってみて良かったことも、反省点も有り、何とか乗り切ることが出来ました。会員さんのご協力が無かったら出来なかったことです。心よりお礼申し上げます、ありがとうございます。

次期 SAA 委員会さんをお願いしたいことがありますが、今年度私達

例会報告

のSAA委員会での反省点の一つで気が付いたことが、ロータリーバッジの付け忘れ、ネームプレートの持ち帰り、ネクタイの付け忘れ、時間励行等が有りました、その点宜しくお願い致します。



クラブ奉仕委員長 折茂 謙一

22年7月15日クラブ奉仕委員会を開催致しました。鍋島勝雄会長、中村良平幹事、田中武SAA、栗原藤義会報委員長、遠藤 隆浩出席プログラム委員

長、鴻野幸泰親睦活動・趣味の会委員長、平義孝雑誌・広報委員長、堀川和士ニコニコ委員長の皆様にご出席いただき各委員会の活動計画をいただきました。クラブ内の団結を深める方向への協議を行いました。

ゲストスピーカについては23年5月27日に正宗寺住職 原田道一氏に(無用の用)について御講話をしていただきました。

親睦活動・趣味の会委員長

鴻野 幸泰

本年度の親睦活動、趣味の会は、委員長 鴻野幸泰、副委員長 脇本敏雄さん、委員は門前さん、河渡さん、栗原さん、堺さん、小林さん、道脇さん、垣内さん、三浦さんの10名のメンバーで活動させていただきました。

活動内容としては昨年の8月の納涼例会を宝生閣にて、新年家族例会をひだホテルプラザにて、そして新緑例会を桜野公園にて開催させていただきました。

その他本年度はIMおよび創立45周年記念に委員会として積極的に関わらせていただきました。今年度の鍋島会長の目標である和の心を思い事業に取り組みさせていただきました。委員会といたしましては、今年度の目標でありました「めでた」を委員全員が出せるようにしたいということで何回か練習を重ねました。おかげさまでIM「めでた」と「大つえ」を披露をする事ができました。本年度、大変貴重な経験をさせていただきました。みなさまに感謝もうしあげます。



ニコニコボックス委員長 堀川 和士

副委員長：米澤 久二、委員：寺田 一夫、洞口 良一、田中 正躬、谷井伸之

①基本方針：ニコニコBOXは、ロータリー精神のシンボル。ニコニコBOXを通じて例会を盛り上げ、親睦を図り、ニコニコの目的である「親睦から奉仕へ」のロータリーの本質の具現を目指す。

② 例会2回を残しての最終締めめの報告

1. 実績金額発表：今年度の目標額130万円に設定していますが、会長・幹事ご苦勞様という最終日を残していますので目標は達成される事と信じております。



2. 活動の軌跡：「ニコニコ委員して内容披露は提出者の気持ちになりきり、演出して気持ちを込めて読み上げ、出来る範囲でジョークを取り込めれば望ましい。」というスローガンのもと、沢山のニコニコを投函して頂けるよう毎回、委員会として努力しましたが、おおむね達成出来たと思います。

担当例会では、昨年の土2月24日、語り部ねっと 飛騨高山朗誦会から代表潔暗育夫様以下5名に来ていただき「賢者の贈りもの」を朗読して頂きました。

3. ニコニコ賞について

ニコニコ月間賞は3名の会員に各当し表彰させて頂きました。

雑誌・広報委員長

平 義孝

1. 今年度は昨年7月～今年6月までロータリーの友の紹介を、伊藤さん、小森さん、菱川さん、井辺さん、平とで説明いたしました。

2. 昨年の10月23,24日の2630地区年次大会のPRについて、高山の3ロータリークラブ合同で、新聞折込にて「国際ロータリー特集号」としてロータリー又クラブの活動を紹介いたしました。両面カラー印刷で18,500枚、折込共で予算15万円、こちらは例年市民時報に毎年3クラブで掲載している記事と同予算です。

3. 今年4月1日の雑誌・広報委員会担当例会にはソフトバンクの竹内様に名古屋からお越し頂き、これからの時代に必要となる電子書籍を使用してのビジネス活動と情報PRについてお話をさせて頂きました。

4. 東日本大震災に際し、台北東海RCから送金のあった30万円について、鍋島会長が社会福祉協議会に台北東海RCの義援金として寄付いたしました。その件は伊藤さんが記事にしてロータリーの友事務所へ送りました。



会員増強・職業分類・選考 副委員長 山本 善一郎

高山西ロータリークラブ45年の歴史を振り返る時、当初の20～25年の会員の皆様は夢を持つ輝かしい方が多く、色々と事業の展開について話し合うなどされた時代であったと思います。今、失われた20年といわれる時代となり、ポールハリスがロータリーを創立した原点に立ち返ってクラブを再構築すべき時が来たと思います。



ロータリー情報委員長 岡田 賛三

近年、入会暦の短い会員の退会が続く現状を何とかしなければという思いから、会長からの提案で、入会5年位まで

の方たちとベテランロータリアンとの対話の場を設ける事としま



例会報告

した。2月18日「きのえね」にて開催しましたが、入会5年未満の会員が3名しか参加がなく、少し残念でした。しかし本音で語り合う事ができ、当クラブの問題点も少し見えてきたように思えました。

担当例会は3月25日に、慈光会常務理事の平田さんのスピーチを戴きました。奉仕の実践者としてのお話は、共感と感動を与えてくれた事と思います。

職業奉仕委員長

門前 庄次郎

基本方針を、職業に誇りを持ち、倫理的・道徳的水準を高め、自己の職業を通じて社会に奉仕する事を再認識するとしてやってきました。



自己の職業を通して、社会に奉仕・また貢献していく事が大切であり、またそう言った意識を持つ事の大切さを、一年間通して少しは考えて行けたのではと思っています。

上期には、7月にFM愛知で活躍されていた山形賢次さんに来て頂き、『ラジオと電波』と題し、電波が社会に貢献してきた事を、また10月には高山市社会福祉協議会の小峠賢次さんに来ていただき、現在の高山市の福祉の現状や、地域の住民として、私達がどんな事にかかわっていけば良いのか等をお話頂きました。

下期には、4月にCSR活動にも積極的に取り組んでおられる(株)日立情報テック高山営業所様に職場訪問し工場内の様子、周辺地域との関わり等のお話をお聞きました。

環境保全委員長

洞口 良一

基本方針のうち「地域の模範となるべく意識の高揚を…」については、委員会として積極的な啓蒙活動がなかった事により環境問題に対する意識の高揚は計れなかった様に思います。また、計画した3つの事業の実行については変更なく実行できたと思います。



①エコハウスでの担当例会(9月)…脇本さんの概要説明、および省エネ住宅・エコ住宅の一部体験と見学で新たな見識を深める事が出来た。

②休耕田活用による作物の管理・収穫(10月)…日延べした関係で会員の参加が少なく盛り上がり欠けた感があったが、参加していただいた皆さんには大変喜んでいただいたと思います。この4月には次期委員長さんに次期作物の植え付けについて相談を掛けた所、中止するとの事で何かそれに代わる行事を計画したいとの事でした。

③環境保全に関するゲストスピーチ(3月)…国土交通省高山工事事務所所長 鈴木学様の講話を頂きました。決算については予算内で収める事が出来、節約委員会であったと思います。

青少年育成委員長

堺 和信

事業報告としましては、9月17日に担当例会に永家工業株式会社代表取締役で高山中央 RC の会員であります永家将嗣さんを講師としてお招きしました。卓話の内容は、グレートビルダーズという組織に参加され、そこで「JHP・学校を作る会」という NGO/NPO 法人の活動を知り、募金活動により800万円近くを集め、カンボジアに学校を建てるまでのお話をいただきました。



9月に、高山あすなる会主催の「小中学校木工コンクール」に協賛をさせていただき、12月には「高山スポーツ少年団交流大会」に協賛をさせていただきました。

3月3日には高山市小中学校校長会におきまして、「義務教育課程9ヵ年皆出席表彰」の賞状と記念品をお渡しさせていただき、3月4日の担当例会では松倉中学校校長で高山市小中学校校長会長の林廣茂先生お招きし、38年の教師生活で子どもたちから学んだことと、自らの子育ての経験から学ばれたことをお話いただきました。

1つやり残したことは従来からの課題である、基本方針に掲げた学校への「講師派遣」ができなかったことです。

<ニコニコボックス>

●濃飛分区ガバナー補佐 伊藤 松寿さん

明日、名古屋名鉄グランドホテルで行われる地区の現・次期の引継いで、次年度の劔田広喜さん(高山中央RC)にバトンタッチして来ます。これで濃飛分区ガバナー補佐の任務も終了となります。改めて一年間ありがとうございました。

●鍋島 勝雄さん

本年度最後の締めくくりのクラブアッセンブリー、各委員長よろしくお祈りします。

●中村 良平さん

今週末はクラブアッセンブリーです。各委員長、一年間のまとめでお話したい事がいっぱいあると思いますが、計算上お一人3分しかありません。よろしくお祈りします。

●平 義孝さん

先週、クラブ在籍25年のお祝いを頂きました。健康にも恵まれ、又皆様のお力添えもあり感謝しています。ありがとうございます。

●小森 丈一さん

ロータリーの友6月号13Pに、久しぶりに我が句が取り上げられました。稲畑汀子さんとは感性が合うようです。

●垂井 政機さん

6月8日全国飲食業組合岐阜県大会を無事終了する事が出来ました。二次回の夜の街もずいぶん賑やかだったとかで、飲食業組合会員も少しは潤ったかな?出席参加された方も大勢いらっしやっただかと思っておりますが、感謝感謝であります。